

令和8年7月8日庁議資料
 総務企画局

 2026年
第36回  **福岡アジア文化賞公式行事について**
1 概要

福岡アジア文化賞では、9月に下記のとおり公式行事を執り行います。いずれの行事も無料でご参加いただけます。

第36回となる今年の実賞者は、裏面記載のとおり決定しております。受賞者を福岡にお招きし、各種行事を開催いたしますので、職員の皆様におかれましては、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

2 主な公式行事

| 行事 | 日程 | 場所 | 内容 |
|---------|--|-----------------------|--|
| 授賞式 | 9月14日(月) 18:30~20:00(予定) | 福岡市民ホール (中ホール) | 授賞式典 パフォーマンス |
| 市民フォーラム | <大賞> ホー・ツーニエン 9月12日(土) 午後 | 福岡市美術館 (ミュージアムホール) | 市民を対象とした 受賞者による講演会等 ※アーカイブ配信あり |
| | <学術研究賞> キャロライン・シー・ハウ 9月15日(火) 午後 | アクロス福岡 (国際会議場) | |
| | <芸術・文化賞> ピチェ・クランチェン 9月12日(土) 午後 | 福岡市美術館 (ミュージアムホール) | |
| 学校訪問 | 9月14日(月) 9月15日(火) | 福岡市内の小学校 | 受賞者が小学校を 訪問し、児童と交流 |

※ 詳細の案内は7月21日(火)を予定しています。

【問い合わせ先】

 総務企画局国際部アジア連携課(福岡アジア文化賞委員会事務局)
 担当:徳久、山守 TEL:092-711-4930 FAX:092-735-4130


第36回福岡アジア文化賞受賞者

大賞

ホー・ツーニエン（49歳）

アーティスト

映像表現でアジアの歴史と記憶を描き出す現代アーティスト



- ・ 東南アジアの歴史や文化を映像や演劇で表現し、植民地時代の記憶やアジアの多様な価値観を伝えてきた現代アーティスト。
- ・ 既存映像やアニメーション、VRやAIなどを用いた映像インスタレーションにより、表現と展示の新たな可能性を切り開いてきた。
- ・ 映像に加え、演劇や舞台作品にも取り組み、第16回光州ビエンナーレ（2026年）の芸術監督に就任するなど、展覧会づくりにも役割を果たしている。

学術研究賞

キャロライン・シー・ハウ（56歳） 東南アジア研究者

東南アジア社会の人々に未来を選ぶ自由を見出す研究者

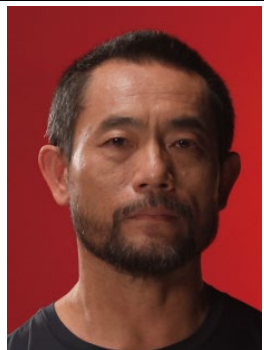


- ・ 東南アジア社会の人々の経験や歴史に寄り添い、文学研究と地域研究を横断する東南アジア研究者、文芸評論家、作家。
- ・ フィリピン社会を対象に、ナショナリズム、エスニシティ、ジェンダーなどの主題を掘り下げ、社会の分断を生み出す構造を多角的に明らかにしている。
- ・ 近年は小説や批評的活動を通じて、人々が生き抜いてきた姿に光を当て、分裂の深まる現代世界に力強くも温かい言葉を送っている。

芸術・文化賞

ピチェ・クランチェン（55歳） タイ舞踊家、振付家

アジア舞踊の伝統を現代と世界へつなぐ革新的舞踊家



- ・ タイの伝統舞踊「コーン」を基盤に、その身体技法と美意識を受け継ぎつつ舞台作品の創作と上演に取り組んできた舞踊家・振付家。
- ・ 厳格な伝統様式を大切に継承しながら、現代社会の文脈に即した振付や構成を試み、舞踊を生きた表現として更新している。
- ・ 舞踊のもつ文化的背景や身体表現の可能性を舞台上で可視化する実践を通じて、アジアの舞踊文化の発信と発展に重要な役割を果たしている。

第35回公式行事の様子

授賞式



市民フォーラム



学校訪問

